

# ふくしま 森林 文化フォーラム



## 「ふくしまの森から未来を創る」

～森に育まれた文化に学び、生かし、未来を考える。～

森の恵みを受け、森と共に生きる中で培ってきた人々の生きる知恵や知識は、様々な森林文化を育み継承されてきました。しかし、現代社会の効率性、利便性の追求の中で森との関わりは希薄になり、原子力災害がさらに追い打ちをかけた今、私たちは、これまでの森林文化を継承しつつも、様変わりした森との接点を、現代社会に対応する森との関係として新たに創造していくことが求められています。人と森の関わりを再考し、新たな森との関わりを取り組みを通じて未来を考えます。

参加費無料

定員200名

平成28年2月6日土

13:00～16:00(開場12:00)

郡山市立中央公民館 多目的ホール

郡山市麓山一丁目8番4号 TEL024-934-1212

主催 福島県

※入場は無料ですが、事前に申し込みが必要です。  
定員になり次第締め切らせていただきます。(詳しくは裏面をご覧ください。)



### プログラム

#### 1 基調講演

### 「森林の恵みと民俗」

福島県にはじつに豊かな自然の恵みがあり、森林文化があります。福島県の先人たちはどのような伝承を守りつつ自然の恵みを享受してきたのでしょうか。現在多くの日本人は自然との距離を隔絶させながら生きています。自然と離れてしまっは心豊かに生きることはできません。まず、福島の皆さんが森林文化の力を再認識し、それを現代社会に発信し続けるべきでしょう。

〈講師〉野本 寛一 氏

1937年生 近畿大学名誉教授、2015年 文化功労賞

生活伝承について自然環境との関係に着目し「生態民俗学」という概念を提唱。日本人と自然環境の関わりについて独自の考察を深めたことで知られる。フィールドワーク重視の研究手法で、福島県会津地方にも多くの足跡を残している。

#### 2 パネルディスカッション

### 「森に育まれた文化に学び、生かし、未来を考える」

〈コーディネーター〉

沼田 大輔 氏(福島大学経済経営学類 准教授)

〈パネリスト〉

早尻 正宏 氏(山形大学 准教授)

岩崎 真幸 氏(みちのく民俗文化研究所 代表)

弦間 一郎 氏((公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団 常務理事)

松崎 和敬 氏(NPO法人 いわきの森に親しむ会 副理事長)

#### 展示

福島県内の森林の現状、県内各地に伝承されている森林文化、森づくりの取り組み等に関するパネル等の展示を併せて行います。

ふくしま森林文化フォーラムは森林環境税を活用して開催しています。



# 〈会場〉郡山市立中央公民館 多目的ホール

郡山市麓山一丁目8番4号 TEL024-934-1212



## お申し込み・お問い合わせ先

特定非営利活動法人

## 超学際的研究機構

〒960-8043

福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL.024(525)8891

FAX.024(523)4567

URL <http://www.chogakusai.ecnet.jp>

mail [info@chogakusai.ecnet.jp](mailto:info@chogakusai.ecnet.jp)

FAXでの  
お申し込み

下記の入場申込書にご記入の上、  
こちらの番号にお送りください。

**FAX 024(523)4567**

メールでの  
お申し込み

氏名、市町村名をご入力の上、  
こちらのアドレスまでお送りください。

**[info@chogakusai.ecnet.jp](mailto:info@chogakusai.ecnet.jp)**

## 入 場 申 込 書

氏 名	お住まいの市町村名	備考(所属等)

提出いただいた個人情報は、本フォーラム開催に用い、他用途に転用いたしません。